

国重要無形文化財 浪曲語り 福本 一光（京山 幸枝若）

国重要無形文化財として「浪曲語り」が指定されるとともに、市内在住の福本一光氏がその保持者に認定されました。この認定により、市内在住の国重要無形文化財保持者は2名となりました。

- 氏 名 ふくもと かずみつ 福本 一光（芸名 きょうやま こうしわか 京山 幸枝若）
- 生年月日 昭和 29 年 4 月 1 日（満 70 歳）

○ 無形文化財の概要

浪曲は浪花節とも呼ばれ、三味線とともに、物語を「ふし節」と「たんか啖呵」で語る、語り物です。江戸末期に成立し、明治時代以降、寄席の芸能として定着し、レコードの存在によって全国に普及しました。

浪曲語りは、曲節にのせて、感情を歌い上げ、また物語を説明する「節」と、歌わず物語を運ぶ「啖呵」によって語る技法です。浪曲三味線の演奏とともに多様な登場人物の喜怒哀楽や情を、磨かれた「節」と「啖呵」で情感豊かに語り上げるもので、高度な芸術的表現力を要するものです。

○ 保持者の概要

伝統的な浪曲語りの技法を高度に体現する浪曲師であり、声、節、啖呵の三拍子が揃い、力強く伸びやかに響かせる高音、緩急自在の節と啖呵によって作品世界を情感豊かに語る芸によって高い評価を受けておられます。

また、自身の高座活動とともに後進の指導・育成にも尽力され、さらに公益社団法人浪曲親友協会の会長を長く務めて、浪曲語りの継承、関西浪曲界の発展にも寄与しておられます。

市内在住 重要無形文化財保持者一覧

名称	保持者	指定年月日
能囃子方太鼓	三島 元太郎	H26. 10. 23
浪曲語り	京山 幸枝若	R6. 10. 9

国登録記念物（名勝地関係） 日本万国博覧会記念公園日本庭園

国登録記念物（名勝地関係）として、市内所在の「日本万国博覧会記念公園日本庭園」が登録されました。この登録により、市内所在の国登録記念物（名勝地関係）は3件となりました。

- 名称 日本万国博覧会記念公園日本庭園
- 所在地 吹田市千里万博公園 1－1
- 管理者 大阪府

○ 登録記念物の概要

日本万国博覧会記念公園日本庭園は、本市北部の千里丘陵に位置します。昭和 45 年（1970 年）に開催された日本万国博覧会において政府出展示施設として整備された庭園で、総面積は 25 万㎡に及びます。東西約 1,300m、南北約 200m の細長い土地を、西から東へ上代、中世、近世、現代の 4 つの区画に分け、各時代の特徴を表した庭園を設けています。それぞれの庭園は溪流で結ばれ、その水の流れに博覧会のテーマである「人類の進歩と調和」を表現しています。上代地区には泉と滝、中世地区には大きな洲浜、枯山水、路地を造り、近世地区には「心字池」を中心として、その向こうに芝山を築き、現代地区には「鯉池」のほか、蓮池、菖蒲田などがあります。作庭にあたっては、博覧会のテーマのほかに、伝統的な技術及び当時の最新技術の提示、画期的な広さによる多くの来園者への憩いの提供などが意図されました。

○ 主な構成要素

心字池、鯉池、蓮池、芝山、雪見灯籠、八つ橋（木造）、石橋、迎賓館、休憩所、茶室

市内所在 国登録記念物（名勝地関係）一覧

名称	管理者	所在地	登録年月日
旧西尾氏庭園	吹田市	吹田市内本町 2	H25. 8. 1
旧中西氏庭園	吹田市	吹田市岸部中 4	H25. 8. 1
日本万国博覧会記念公園日本庭園	大阪府	吹田市千里万博公園	R6. 10. 11